

## Rules, Norms and NGO Advocacy Strategies Hydropower Development on the Mekong River

著者：安田由美子

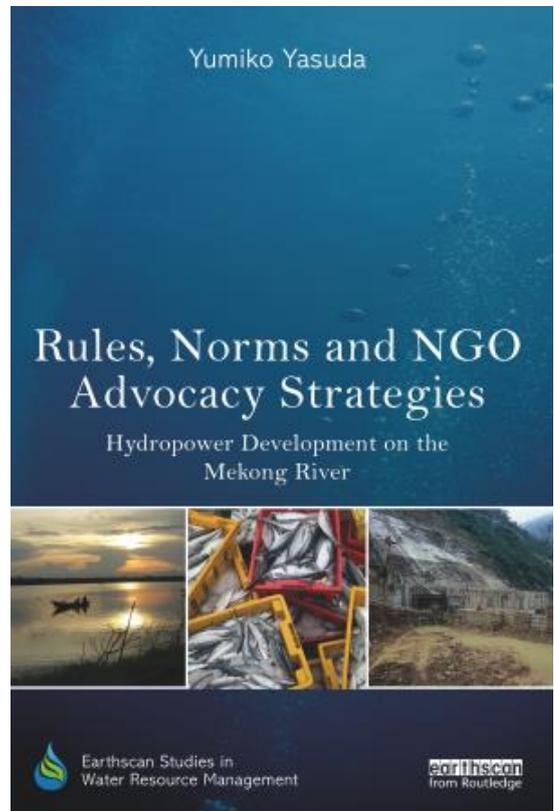
出版社：Routledge Taylor/Francis Group

Earthscan Studies in Water Resource Management

出版予定日：2015年9月

水力発電ダムの建設には、ダム開発による経済的利益と環境問題及び周辺住民の生活への影響が必ずと言ってよい程対する。本著は、このようなダム開発問題に対するアドボカシー活動を行っている NGO や市民団体が直面する問題を分析する。事例としてメコン河におけるサヤブリダム対する、カンボジアとベトナムにおける NGO ネットワークのアドボカシー活動を取り上げる。本著は政策や法律などのフォーマルルールと、慣習や文化の中に根差すインフォーマルなルールが NGO のアドボカシー活動に与える影響を分析した、他に類を見ない研究である。又本著は、1995年メコン河協定におけるサヤブリダムの事前協議のプロセス及び NGO・市民セクターの

関わりについて細かな分析を行い、事前協議における様々な課題を明らかにする。本著により使われた分析枠組みは、今後の NGO や市民団体が活動を行っていく上で実践にも活用されることが期待される。



**著者プロフィール：** 環境・水問題ガバナンスのスペシャリスト。日本及びスウェーデンのエリクソン社において環境スペシャリストとして企業の環境問題に携わった後、東南アジアをベースに国連開発計画、WWF 及び Mlup Baitong (カンボジアの環境 NGO) において、様々な環境問題の実務に携わる。特にその中でもメコン河に関わる研究及びプロジェクト実践の



経験が豊富である。スコットランドにあるダンディー大学の水政策・法・科学研究所 (Centre for Water Law, Policy Science) にて研究員を経たのち、同研究所より博士号を取得。2015年8月半ばよりスウェーデン及びオランダの研究機関において、ポスドク研究員として越境河川問題の研究に従事予定。

下記のウェブサイトよりご購入の際には、ご精算時に割引コード FLR40 を入力されると 20% の割引が適用されます。

<http://www.routledge.com/books/details/9781138920293/>